



さわらび保育園年報 第14号

2024年(令和6年)8月21日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会
さわらび保育園

〒813-0031福岡市東区八田4-6-5
<http://www.hojinkai.ed.jp/sawarabi/>



輔仁会は「還暦」を迎えます

理事長 大浦 純平 (元:さわらび保育園 保父 / 前:つばみ保育園 園長)

当法人は昭和40年に設立され、来年で満60年を迎えます。そして運営する保育園は「つばみ」が60歳、さわらびが55歳、新宮つばみが20歳になります。昭和38年に福岡市は保育施設として市が用地を準備して保育園開設希望者を募り、いわゆる「福岡方式」を打ち出しました。それに応募した私の母は市の委託を受け、法人を設立し「早稲」に「つばみ保育園」を開園しました。次に、昭和45年に「穴田」にて開園を委託され、別法人を設立し、さわらび保育園を開園しました。私は昭和52年に会社を辞して保育士資格を取得し、54年保父としてさわらび保育園に就職しました。四年間保父として働いた後、58年につばみ保育園の園長に就任しました。

その後、平成15年に「つばみ」と「さわらび」の法人を合併し「社会福祉法人 輔仁会」が新たにスタートし私が理事長を拝命することとなりました。平成17年には新宮町の公募に手を上げ、難関を突破し「新宮つばみ保育園」を開園しました。私は法人に入職し46年が過ぎました。これまで、多くの優秀な職員の皆様を支えられ、良い保育が継続できてきたことに心から感謝いたします。また、今年二月には後期高齢者となりました。もうそろそろ年貢を納めよう良いのかと思っております。後進に確りと道筋をつけて輔仁会からの卒業を準備してまいります。後少し宜しくお願致します。



世界の子どもたちが安心してすごせますよう

統括次長 大浦まゆみ (元:つばみ保育園 事務主任 / 前:新宮つばみ保育園 園長)

世界では戦禍がやまず幼子をはじめ人々が被害を受ける現実があります。この世に生まれたばかりの子どもたちは、きけるために、ただ親の乳を求め、親の懐で安心して眠りたいだけなのに、自分の周りの環境が不安と恐怖に満ちた世界だとしたら、いったいどのように育つのでしょうか。保育園は、も少し成長したお子さんをお預かりして過ごす、幼児期にはやはり「安心して過ごす」ということがとても大切なことです。優しい表情で

優しい言葉で関わり「あなたのあがままを受け入れる」ことが伝われば、子どもは人を信頼し、自分を発揮して成長することができはるはず。怒りや不満、失望、からかいなどの感情は決して子どもに向けてはなりません。輔仁会の三園では、様々な職種の職員が皆優しく言葉をかけ、子どもたちを見守っていると信じています。この温かさの中で子どもたちが成長しますように、また、世界中に平和が訪れますようにと祈ってやみません。



宜しくお願致します

副次長 大浦 哲平

保護者の皆さま、こんにちは。いつも園の運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。本年7月から輔仁会の法人本部職員として働くことになりました大浦哲平と申します。6月末までは一般企業に勤めておりましたが、昨年度までは一保護者として輔仁会のつばみ保育園でお世話になっておりました。ついでこの間までわが子と一緒に登園していた保育園で、お世話になっていた先生方と一緒に仕事をすることになり、正直まだ少し不思議な気持ちを持ちながら毎日過ごしています。

数年前から法人の理事として各園の運営に多少関わってはいたのですが、保育業界や実際の保育実務の経験はないため、これからは園の経営だけでなく、子ども達の保育についてもしっかりと学んでいきたいと考えています。先月から、各園の各クラスを回りながら、保育補助として先生方のお手伝いをさせていただきます。実際の保育に直接触れる機会をいただいています。保育士資格についても現在勉強中です。



まずは自分の中に保育や子ども達に向き合うための下地をしっかりと作って、今までの培ってきた輔仁会の保育のいい部分を大切にして、保護者の方々や地域社会が保育園に対して求めるもの、少子化や保育士不足などの保育業界が置かれている事業環境など、時代とともに変わっていくものに対してしっかりと目を向け、柔軟に対応していきたいと考えています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

「感性を育てる」

園長 三笠 良子



年報が発行されるのが毎年夏の暑いこの時期です。年々暑さが厳しくなり、子どもたちの外での活動も制限されていっています。熱中症対策のために外遊びの時間を定め、なるべく日陰での活動を促し、遊びに夢中で忘れる子がいないように水分補給の時間を決め、大気汚染にも注意して外遊びを中止するなど様々な対策が必要になっていきます。外遊びは子どもにとつて大切な活動であり経験です。体を自由に大きく動かし、心を開放します。園庭を整備して七年目になります。木々が少しずつ大きくなり小さな木陰もできるようになりました。春にはウメ、サクラの花が咲き、秋にはドウグリの拾いができます。暑いこの時期には「どんぐり山」の水路

昨年度引き続き会長を務めさせていただきます。井関可南子と申します。父母の会 四役としては4年目となります。昨年のご挨拶の際に「はいっかほねー！」なんて言えるくらい、コロナウイルスの影響を感じさせないくらい、子どもたちの沢山の笑顔が増えていくと信じております。と、書かせて頂きました。まだ日々の生活から「コロナ」というワードが完全に消えてはいませんが、コロナウイルスの影響を感じさせないくらい、子どもたちの笑顔を取り戻せているのではないのでしょうか。

親子の笑顔で溢れる園に！！

2024年度 父母の会 会長
井関 可南子



今年度は四役メンバーも新たに変わり、四役で話し合う中、「ずつと出来ていなかった「夏まつり」を復活したい!!子どもたちの笑顔で溢れる園に!!今までではない「新しい」さわらび夏まつりにしたい!!」そんな思いが溢れてきました。昨日、家族で楽しむ姿を見てみると、子どもたちの笑顔は勿論ですが、保護者の方々も一緒に楽しむ姿がとて印象的で、これまでは「子どもたちが楽しめる園生活！」と、思っていました。みんな楽しんで思い出を作った園生活になりそうです。どれだけの楽しいイベントを企画出来るか分かりませんが、ご家族みんなで参加していただけるようなイベントにしていきたいと思っております。お仕事もある中で、園の行事のサポートなど、皆様にはご協力頂くこともありますが、子どもたちの笑顔の為に、どうぞお力添えを宜しくお願致します。そして、沢山の思い出をさわらび保育園で作っていきましょう!

「勤続30年 子どもたちの日々」 ～笑顔と共に～

年少チーフ
保育士 小林 千春

保育士を夢見て、さわらび保育園に就職しました。やる気と緊張の一年目、たくさん子どもたちや先輩保育士方と関わりながら、保育士の仕事の大変さや楽しさを経験し、「保育とは？」と自問自答しながら過ごしてきた三十年。時代の移り変わりと共に、保育士としての業務内容の変化も多少ありましたが、毎日子どもたちと関わる中で、昨日までできなかった事が「今日できた」という喜びと、たくさん笑顔に幸せを感じつつ、楽しく働くことができています。これからも、子どもたちの成長する姿を見守りながら、自分自身も豊かな心を忘れずに、日々努力をしながら元気に保育士を続けていきたいと思っております。





父母の会主催 夏祭りが開催されました！

暑い暑い夏ははじまり、保育園では水遊びを楽しみ始めたころ、父母の会主催の夏祭りが開かれました。

前日から父母の会の役員さんやおやじの会の方々が会場の準備や道具の搬入等、一生懸命頑張っていました。当日は、開始時刻と共に、浴衣や甚平を着た子どもたちが嬉しそうに夏祭りにやってきて、どこのブースも列がすぐにでき順番待ちができるほど。趣向を凝らしたフォトブースやうちわづくり、お化け屋敷など開催時間中は、子どもたちの賑やかな笑い声が響き、嬉しそうな表情をたくさん見ることが出来ました。感染症対策をはじめ、熱中症対策などにも対応をしながら、子どもたちの心に残る思い出の1日になったのではないかと思います。

父母の会会長さんをはじめ、役員さんやサポーターさん、おやじの会の方々が、声を掛け合い連携を取りながら頑張る姿に、父母の会、おやじの会のパワーを感じました。今後も子どもたちに最善の喜びと幸せを届けられるよう、園と父母の会で力を合わせることができたらと思います。



(楠本)



↑事前に掲示されていたポスター。デザインにも力が入っています。


夏祭りの思い出

二〇二四年度 おやじの会 会長 財前友輔

「できる人ができる時に活動する」ゆるゆるなおやじの会の会長の財前で。

今年の夏祭りは、子ども達に最高の思い出を！をテーマに、四役と共に「お化け屋敷」に挑戦！おやじミティングでは、ビール片手にネタを出し合い、プロの空間デザイナー ミツキ・ホリ氏（前おやじの会会長）に情報提供し、お化け屋敷のレイアウトを作っていました。飾りつけは全て手作業。開催3週間前から仕事の合間に集まり、井戸や看板作りをしました。大変というより、忘れていたあの頃の青春すら感じる楽しい準備時間でした。出来上がったお化け屋敷は、お面や手が動き出したり、アンミカの中に副会長がいたりと丁度良い怖さに仕上がったと思います。金髪をかぶった先生の写真が紛れ込んでいたのにも気づきましたか？これを機に夏祭りの「お化け屋敷」を恒例行事にしていけたらと思っています。

今後もおやじの会は園行事に首を突っ込んでいきたいと思えます。活動するおやじが一番楽しんでいるおやじの会、メンバー募集中です。



2024年度 職員構成 (8月1日現在 46名)	
園長 三笠 良子	
主任	荒津 佐知子
主任	中村 一星
副主任	楠本 勝馬
給食主任	渡邊 和
事務主任	林 美由起
もも組	小林 千春・福山 ひとみ 山下 鈴華
うめ1組	渡邊 久美子・林田 亜由美
うめ2組	松田 雄紀・久保 香織 中島 千賀子
さくら1組	原口 直美・東 美早緒 飛来 弘子
さくら2組	平河 奈緒子・久積 未羽 前車 智子・柴藤 彩
さくら3組	中村 一星(※)・藤田 海夕 朴木 千佳子・松本 奈緒美
フリー	佐野 美奈子・古賀 美夏 薄 一美
つくし組	友田 美桜・古澤 真奈美
なのな組	下川 加南子・大鶴 彩夏
れんげ組	湯之前 駿司・佐藤 由佳
すみれ組	楠本 勝馬(※)・安部 菜白
たんぽぽ組	串尾 由依・鎌田 眞理
保育補助	小山 舞・堤 晃子
給食員	渡邊 和(※)・福島 千春
	串崎 美津代・郷良 小百合
	神田 英里香・斎藤 豊子
	南 真紀子・西原 ひろ子
用務員	倉員 明日香

2024年度 父母の会役員		
会長 井関 可南子 (たんぽぽ)		
会長補佐	岩崎 綾子	(さくら2)
書記	財前 泰佳	(さくら3)
	吉永 あずさ	(つくし)
会計	風間 圭代	(さくら2)
	石橋 董	(さくら3)
	宮原 美穂	(さくら3)
監査	山内 えり子	(つくし)
	富士本 宏美	(れんげ)



子どもの作品は宝物

子どもたちの作品を一斉に展示していた「たからもの展」を中止し、園内の色々な場所を展示の場所にしていきます。廊下などに作品や絵を、飾り棚には子どもたちの作品を取り入れ展示しています。

作品づくりを通して、作り上げる達成感を共に味わい、会話を楽しみ、心が通じ合うこともあります。「子どもの作品は宝物」子どもの成長や保育士との関わりが見えるような展示をさらに工夫してきたいと思います。


(平河)

保育士として

2008年度卒園 保育士 久積 未羽

私が在園していた頃の担任の先生に憧れ、保育士になりたいと思い始めました。その頃からさくらび保育園で働くことが夢となり、今、思い続けていた夢が叶い、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

いざ保育士として働いてみると、子どもの頃には気付かなかった先生方の配慮や援助があることに気づき、また、保育士は子どもの成長を近くで感じることが出来る仕事だと改めて感じました。そして、日々周りの先生方から学ばせてもらうことができ、少しでも自分のスキルとして身に付けていけたらと思っています。まだまだこれからも保育士としての経験を積み重ね、刺激を受けながら子どもたちと共に成長していきたいと思っています。



卒園児の活躍

卒園児がさくらび保育園に就職し、共に保育をしたり、高校野球の予選決勝で活躍する姿、保育実習や調理実習などそれぞれの場所で、それぞれの夢に向かって頑張っている姿を目にし、喜ぶ機会がたくさんありました。これからの活躍も期待しています！

(荒津)

昨年(2023)から今年(2024)にかけての卒園児の活躍をお届けします。

- 調理実習(二〇二〇年度卒園)
- 卒園して十数年の時を経て調理実習に来てくれました。大きくなり、子どもたちにも優しく野菜の持つ力を話してくれました。
- 保育実習(二〇二〇・二〇二一年度卒園)
- 保育実習に来たいという連絡をもらいました。卒園しても覚えていてくれたことがうれしかったです。また会える日を楽しみにしています。
- 高校野球(二〇二一年度卒園)
- 直接会うことはできていませんが、画面越しに戦う姿、仲間を鼓舞する姿に胸が熱くなりました。

(※)は再掲